

令和7年度夏季研修会について 報告

令和7年8月5日(火) 本校体育館

社会福祉法人 樫の木福祉会から野崎貴詞様をお招きし、夏季研修会を行いました。「こどもたちの自分で決める力を育てるために～学校生活における自己決定・意思決定について～」というテーマで講義をしていただきました。

今回の研修では、障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドラインの概要や意思決定支援における大切な視点について、プロセスや留意点に触れながら丁寧に教えていただきました。また、『障害児支援におけるこどもの意思の尊重・最善の利益の優先考慮の手引き』に基づき、子どもの意思を尊重した取り組みの進め方について、学校生活や社会生活上での選択場面における具体的な事例を交えながら詳しく説明していただきました。後半のグループワークでは、「発表会（もしくは、学校全体行事）への参加の方法」を題材に活発な意見交換が行われ、学校生活での意思決定場面における具体的な支援を考える貴重な機会になりました。

意思決定の力を育むために、幼い頃から選択肢を得る体験や決定と表出の良い経験をより多く積み重ねることができるよう、我々教職員一人一人が意識しながら将来を見据えた支援を継続的に行っていくことが大切だと感じました。

参加者アンケートからは

- ・意思決定支援における大切な視点を教えていただき、「子どもの意思を尊重した取り組み」の在り方について見つめる機会になりました。チームとして子どもたちに関わることができるよう、本日の学びを学校で共有したいと思います。
- ・「自分で決める力」を培うために、小学校の段階から選択する経験の大切さを感じました。子どもの思いを汲み取ることをこれからも大事にしていきたいと思います。
- ・グループワークでは、他校の先生方と情報交換ができ、大変参考になりました。

などの声が寄せられました。

また、会場内では、「教材教具の紹介」も行い、実際に本校で活用している教材を手にとって見ていただきました。

- ・教材教具の扱い方や作成の方法を説明していただき、とても分かりやすかったです。
- ・身近な材料で作れるものが多くあり、この夏休みに教材を作りたいと思います。
- ・参考になる書籍が多く、付箋が貼ってあって読みやすかったです。

などの声をいただきました。

暑い中、今年も地域の小・中学校の先生方にたくさん参加していただきました。ありがとうございました。

